

令和7年度実施（夏）

## 養護教諭

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

[1] 次の(1)～(7)に答えなさい。

(1)「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(平成27年8月 日本学校保健会)に示されている、視力検査について、文中の①～⑦に当てはまる語句や数字をそれぞれ書きなさい。

- ・ 国際標準に準拠した( ① )を使用した視力表の0.3, 0.7, 1.0の視標を使用する。
- ・ 視力表(視標)は、原則( ② )m用を使用する。
- ・ 眼の高さと視標の高さはほぼ等しく、視標は視線に対し( ③ )に提示する。
- ・ 視標面の照度は( ④ )～( ⑤ )ルクスとする。
- ・ はじめに( ⑥ )の視標から開始するのを原則とする。
- ・ 眼科への受診を勧める基準は以下のとおりとする。  
児童生徒は、左右どちらか片方でも( ⑦ )未満であるものに受診を勧める。

(2)「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」(平成27年8月 日本学校保健会)に示されている、「健康診断実施上の留意点」について、文中の①～⑥に当てはまる語句を下のア～スの中からそれぞれ一つ選び、記号を書きなさい。

ウ プライバシーの保護及び個人情報の管理

健康診断は、児童生徒等が( ① )を理解するとともに、保護者や教職員がこれを把握して適切な指導や( ② )を行うことにより、児童生徒等の( ③ )を図るものである。その際、検査等を実施する方法や( ④ )、ついたてなどの物や人の( ⑤ )などを工夫したり、( ⑥ )や記録を児童生徒等にさせて他の児童生徒等に結果が知られたりすることなどのないよう、児童生徒等のプライバシーの保護に十分な配慮を行わなければならない。また、結果の処理や活用の際に、個人が特定される情報が外部に漏れたりすることのないよう、健康診断票等の個人情報の管理に十分配慮しなければならない。

ア 計測      イ 健康課題      ウ 配置      エ 支援      オ 補助      カ 健康の保持増進  
キ 並び      ク 発達段階      ケ 役割分担      コ 事後措置      サ 指示      シ 自分の健康状態  
ス 教育的効果の向上

- (3) 次の文は、「『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」(平成31年3月 文部科学省)に示されている、「救急及び緊急連絡体制」の一部である。文中の①～⑧に当てはまる語句を下のア～タの中からそれぞれ一つ選び、記号を書きなさい。

学校において事故等が発生した場合には、児童生徒等の(①)や通報など、必要な措置を行うとともに、速やかに適切な応急手当が行われなければならない。応急手当は、傷病の(②)を防ぎ、引き続いて行われる(③)の有効性を高めるための手当であり、傷病者の(④)を緩和する効果もある。応急手当には、(⑤)や正確さが要求される。よって、応急手当が適切に行われるためには、学校全体の救急及び緊急連絡体制が確立されている必要がある。

また、AEDについてはインジケータのランプの(⑥)や表示により、AEDが正常に使用可能な状態を示していることを(⑦)に確認するなど、適切な管理が必要である。加えて、(⑧)が様々な状況や傷害等に対する応急手当の手順と技能を習得していることが求められる。

ア 進行      イ 救急搬送      ウ 苦痛      エ 専門的処置      オ 養護教諭      カ 周囲の協力  
キ 日常的      ク 点灯      ケ 状況確認      コ 心理的不安      サ 迅速さ      シ 安全確保  
ス 全教職員      セ 点検日      ソ 悪化      タ 色

- (4) てんかんについて、次の①～③に答えなさい。

① てんかん発作の対応として適切でないものを下のア～オの中から一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 大きなけいれんが起こった時は、安全を確保するために、頭の下にクッションを入れる。  
イ 「自動症」の場合は、意識が回復するまで、一定の距離を保って一緒に移動する。  
ウ 食事中の発作では、嘔吐する場合があるため、すぐに口の中の食べ物を取り除く。  
エ けいれん発作がおさまったら、意識が回復するまで静かに寝かせる。  
オ 発作の始まりに意識の曇りがない発作の場合は、話を聞いてリラックスさせる。

② 「てんかん重積状態」とはどのような状態か。

③ てんかん発作時の口腔用液(ブコラム(R))を使用し、救急搬送を行う場合は、当該の救急隊に使用済みの容器を受け渡す必要がある。その理由を書きなさい。

- (5) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月)の「第2章各教科 第7節保健体育 第2 各学年の目標及び内容 [保健分野] 2内容」についての一部である。下線部①～⑤の記述が正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。

(オ) 感染症は、①ウイルスが主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、②発生源をなくすこと、感染経路を③防止すること、主体の④体力を高めることによって予防できること。

(カ) 健康の保持増進や疾病の予防のためには、⑤学校や社会の取組が重要であり、保健・医療機関を有効に利用することが必要であること。また、医薬品は、正しく使用すること。

(6) 傷病者の救命処置について、次の①～③に答えなさい。

- ① 全身の循環障害であるショック状態になると現れる症状を5つ書きなさい。
- ② 文中のア～オに当てはまる語句や数字をそれぞれ書きなさい。

傷病者が倒れた直後に、(ア)と呼ばれるしゃくりあげるような途切れ途切れの呼吸がみられることが少なくない。このような呼吸がみられたら(イ)と考えて、直ちに(ウ)を開始する。呼吸の観察には(エ)秒以上かけないようにする。判断に迷う場合は(オ)の呼吸がない、すなわち(イ)とみなす。(イ)でない人に(ウ)を行ったりAED(自動体外式除細動器)を装着したりしても大きな問題は起こらない。

- ③ AEDの効果が十分に得られるよう、電極パッドを貼り付ける際に傷病者について確認すべきことを3つ書きなさい。

(7)「学校において予防すべき感染症の解説(令和5年度改訂)」(令和6年3月 日本学校保健会)に示されている、学校における感染症への対応について、次の①、②に答えなさい。

- ① 標準予防策(スタンダード・プリコーション)とは何か。具体的な方法を含めて説明しなさい。
- ② 学校において予防すべき感染症の考え方について、文中のア～コに当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

各感染症の出席停止の期間は、感染様式と疾患の(ア)を考慮して、人から人への感染力を有する程度に病原体が排出されている期間を基準としている。感染症の拡大を防ぐためには、患者は、

- ・ 他人に容易に感染させる状態の期間は(イ)の場を避けるようにすること
- ・ 健康が回復するまで治療や(ウ)の時間を確保することが必要である。(以下、略)

〈第一種の感染症〉

「感染症の予防及び感染症の患者に対する(エ)に関する法律」(以下、「感染症法」という。)の第一類感染症と(オ)を除く二類感染症を規定している。出席停止の期間の基準は、「(カ)」である。

〈第二種の感染症〉

略

〈第三種の感染症〉

(キ)を通じ、学校において流行を広げる可能性がある感染症を規定している。出席停止期間の基準は、(ク)により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまでである。

なお、学校で通常見られないような重大な(ケ)が起こった場合には、その感染拡大を防ぐために、必要があるときに限り、校長が(コ)の意見を聞き、第三種の感染症の「その他の感染症」として緊急的に措置をとることができる。「その他の感染症」として出席停止の指示をするかどうかは、感染症の種類や各地域、学校における感染症の発生・流行の態様等を考慮の上で判断する必要があり、あらかじめ特定の疾患を定めてあるものではない。

[2]「教職員のための子供の健康相談及び保健指導の手引—令和3年度改訂—」(令和4年3月 日本学校保健会)に示されている、健康相談における「支援検討会議(事例検討会)」の目的を3つ書きなさい。

[3] 食物アレルギーの対応推進において、学校では、食物アレルギー対応委員会を設置し、学校全体で組織的に取り組むことが重要である。食物アレルギー対応委員会で取り組むべきことを5つ書きなさい。

[4] 次の事例について、下の(1), (2)に答えなさい。

中学校1年生の女子生徒Aさんは、入学当初から月経前に腹痛、頭痛を訴えてたびたび保健室に来室することがあった。症状が重いときは、嘔吐や過呼吸が見られることもあり、体の不調が辛いと泣きながら訴えることもあった。Aさんの話から、これらの症状は月経がはじまると落ち着くことがわかった。

- (1) Aさんの様子から、疑われる疾患は何か。
- (2) Aさんに対して健康相談をする際、養護教諭としてどのような話をするか。具体的に書きなさい。

[5] がんについて、次の(1)～(3)に答えなさい。

- (1) 「学校におけるがん教育の在り方について(報告)」(平成27年3月 「がん教育」の在り方に関する検討会)に示されている、がん教育の目標を2つ書きなさい。
- (2) 「科学的根拠に基づくがん予防」(2024年11月 第3版 国立がん研究センター)に示されている、がん予防の「5つの健康習慣」には、「食生活を見直す」の他に何があるか、4つ書きなさい。
- (3) (2)の「食生活を見直す」において示されている予防法を3つ書きなさい。

kyosai-guild.jp

令和7年度実施（夏）

養護教諭 解答用紙（解答例）

[1]

(1)	①		ランドルト環	②	5	③	垂直	④	500
	⑤		1000	⑥	0.3	⑦	1.0		

(2)	①	シ	②	コ	③	カ	④	ケ
	⑤	ウ	⑥	オ				

(3)	①	シ	②	ソ	③	エ	④	ウ
	⑤	サ	⑥	ク	⑦	キ	⑧	ス

(4)	①	ウ						
	②	てんかん発作・けいれん発作が5分以上続いたり、短い発作を意識が回復しないうちに繰り返しこしたりする状態						
	③	搬送先医療機関の医療従事者が使用済みの容器をもとに投与状況を確認するため						

(5)	①	病原体	②	○	③	遮断
	④	抵抗力	⑤	個人		

(6)	①	虚脱状態	顔面蒼白	呼吸切迫
		冷感	冷や汗	
	②	ア 死戦期呼吸	イ 心停止	ウ 胸骨圧迫
		エ 10	オ 普段どおり	
	③	胸が濡れていないか	胸に貼り薬がないか	医療器具が胸に埋め込まれていないか

(7)	①	感染症の有無に関わらず、すべての人に対して、糞便、血液、体液、吐物等には、感染の可能性があるとみなして対応する方法で、素手で扱うことを避け、手袋をすることなどがある。						
	ア	特性	イ	集団	ウ	休養	エ	医療
	オ	結核	カ	治療するまで	キ	学校教育活動	ク	病状
	ケ	流行	コ	学校医				

[2]

- ・児童生徒理解・問題理解を深め、よりよい支援の方法を考える。
- ・教職員間の共通理解を図り、効果的な連携を行う。
- ・健康相談の実践力の向上を図る。

[3]

- ・食物アレルギー対応に関する基本方針を定める。
- ・児童生徒ごとに個別の取組プランを作成する。
- ・症状の重い児童生徒に対する支援を重点化する。
- ・支援体制や救急体制を整備する。
- ・校内研修を計画し実施する。

[4]

(1) 月経前症候群

(2)

- ・生理前になると、イライラや憂うつ、頭痛、腹痛などの様々な心身の症状が現れ、生理開始とともに治まっていって病気になることを説明する。
- ・症状が軽いときは、バランスの良い食事や運動、十分な睡眠など、規則正しい生活習慣を心がけると良いことや症状があるときは保健室を利用してよいことを伝える。
- ・辛い症状が続くときは、婦人科等の専門の医療機関を受診するよう勧める。

[5]

(1)

- ・がんについて正しく理解できるようにする。
- ・健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする。

(2) 禁煙する                      節酒する                      身体を動かす                      適正体重を維持する

(3) 減塩する。      野菜と果物をとる。      熱い飲み物や食べ物は冷ましてから口にする。